

アスファルト試験

試験申請書について

工事名 施工場所 工事発注者	請負工事の施工業者が行う施工管理試験の場合、必ず記入してください。 販売等、建設資材を出荷する工場が行う材料品質証明のための試験（不特定の工事に使用）の場合は、工事名を“品質管理試験”とし、施工場所・工事発注者については、必要があれば記入してください。
----------------------	---

※混合物の種類・材質・現場配合・現場基準密度等の記入漏れの無いようにお願いします。

マーシャル安定度・ホイールトラッキング試験

As合材製造会社 アスファルト製品名 アスファルト密度 製造会社 混合物の種類 最大粒径 突き固め回数 材質 設計アスファルト量 基準密度 理論密度	必ず記入してください。申請書は、混合物の種類ごとに分けてください。
--	-----------------------------------

アスファルトの抽出・密度試験

混合物の種類 最大粒径 突き固め回数 材質 施工区分 舗装構成 試料採取位置 工場名 合成粒度 アスファルト量 室内配合理論密度 室内配合かさ密度 現場基準密度 設計厚	必ず記入してください。 申請書は、混合物の種類、施工区分・舗装構成毎に分けてください。施工区分は発注者の工事施工規模によります。 (駐車場等であっても、車道並みの施工管理が必要であれば、車道となります。園路等、車があまり通らないところでは、歩道・路肩並みとなる場合もありますので、発注者にお問い合わせください。)
---	--

持ち込み試料について

試料持込に際しては、申請者が直接、センターへお持込ください。

持ち込みが困難な方は、[試験申請要領](#)をご参考ください。

舗装構成が複数層(基層, 中間層, 表層)になるものを同時に申請される場合には、各層に分離・清掃し、自然乾燥状態にてお持ち込みください。

アスファルトコアについては、供試体下面が凹凸している場合または境界面に乳剤及び路盤材等が付着している場合は試験結果に影響を及ぼすので、**カッターで水平に切断して路盤材等を落としてからお持ち込みください。**

※ 当センターで切断は行いません。

※ **ポーラス・透水性・開粒度アスファルトのコアについては、路盤材が付着している供試体は試験を行うことができません。(受取不可)**

現場抜き取りのアスファルト混合物抽出・密度試験用供試体については、以下に示す事項を、コア側面に記入して下さい(シール等の貼付はご遠慮下さい)。

【記入例】



(記入事項)

コア採取位置及び層別

マーシャル安定度試験用供試体については、供試体の高さが 63.5 ± 1.3 mmとなるように作成してください(舗装試験法便覧3-7-1参照)。

また供試体作成において、モールドから抜き取る際の変形に気をつけ、供試体のふちの突出部を削り取って搬入してください。

ホイールトラッキング試験用供試体については、配合設計用の寸法(300×300×50mm)、または現場切り出しの供試体寸法(300×150×50mm)で、搬入願います(舗装試験法便覧3-7-3参照)。

また、供試体に転圧方向の記入をお願いします。

カラーアスファルト、脱色アスファルトの混合物については、抽出試験は実施できません。

(密度試験のみは実施可能です。)